

## ●あかね雲に囲まれて

旅の果てに辿りついた 岬から見る海は  
あかね雲に 囲まれて 沈む夕陽が美しい  
思えばこんなに遠くまで 知らず知らずに来てた  
そういえば近くばかり気にして ただ歩いて来たみたいだ  
今頃になってふと立ち止まり 大きくため息をついて  
そっと来た道を振り返れば… なぜか胸が苦しくなる

幼い頃に見た夢はもう 水平線の彼方  
青い頃の憧れは あかね色の風の中  
前しか見ないよそれがぐせ 振り向かずに歩いた  
森を抜け谷をわたり坂を越えて 幸せの意味もつかめず  
独りじゃなかったあいつたちがいた あの人もあの人もあの人も  
そしていつでもそばに君がいた… 一緒に歩いてきてくれてた

できることなら来た道に戻って 一人一人手を取り  
君がいてくれたから僕がいると ありがとうが言いたい  
傷つけた人にも泣かせた人にも 捨てた人にも倒れた人にも  
すべて僕のせいだと心から… ごめんなさいが言いたい

星も見えない夜を嫌って 昇る朝陽を 愛した……………  
だけど今は気づいてる 沈む夕陽の… 美しさ

少しは優しくなったはずの 僕の手を握り返してくれないか  
そして君との物語の続きを… 一緒に歌わせてくれないか  
もしももしも出来ることならば もう一度同じこの空を  
高く舞い上がる風に翼を 一緒に広げてみたいから

旅は未だ夢の途中 ひたむきに寄せる波  
あかね雲に囲まれて 沈む夕陽が…美しい